

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月25日

上場会社名 メタウォーター株式会社
 コード番号 9551 URL <https://www.metawater.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画室長 (氏名) 中川 雅幸
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6853-7317

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	14,848	28.2	1,563		1,659		1,162	
2019年3月期第1四半期	11,582	13.5	2,316		2,096		1,486	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 912百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 2,244百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	44.85	
2019年3月期第1四半期	57.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	122,645	57,314	46.6
2019年3月期	132,620	59,031	44.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 57,173百万円 2019年3月期 58,889百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		31.00		31.00	62.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		31.00		31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	6.5	8,000	5.2	8,000	4.9	5,500	6.4	212.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	25,923,500 株	2019年3月期	25,923,500 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	150 株	2019年3月期	150 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	25,923,350 株	2019年3月期1Q	25,923,409 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予想内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予想に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続きました。また、世界の経済状況は、通商問題の動向、中国経済の先行き、政策に関する不確実性等のリスクがあるものの、全体としては緩やかな回復が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、2020年度（2021年3月期）を最終年度とする「中期経営計画2020」の達成に向けて「①戦略開発投資」「②事業戦略（基盤分野の強化と成長分野の拡大）」「③持続的なESGの取り組み」を重点施策とし、全社を挙げて取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績については、売上高は148億48百万円（前年同期比28.2%増）、営業損失は15億63百万円（前年同期は営業損失23億16百万円）、経常損失は16億59百万円（前年同期は経常損失20億96百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億62百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失14億86百万円）となりました。また、受注高は288億15百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

当社グループの事業の特徴として、官公庁向けの国内公共事業が大半を占めていることから、売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏り、第1四半期連結累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

当社グループの事業は、「プラントエンジニアリング事業セグメント」に基盤分野であるEPC(注1)事業及び成長分野と位置付ける海外事業が区分され、また、「サービスソリューション事業セグメント」に基盤分野であるO&M(注2)事業及び成長分野と位置付けるPPP(注3)事業が区分されております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(プラントエンジニアリング事業)

プラントエンジニアリング事業においては、EPC事業及び海外事業共に順調に推移し、売上高は96億44百万円（前年同期比25.8%増）、営業損失は4億87百万円（前年同期は営業損失12億80百万円）となりました。また、受注高は109億80百万円（前年同期比38.4%増）となりました。

(サービスソリューション事業)

サービスソリューション事業においては、O&M事業及びPPP事業共に売上高は順調に推移し、52億3百万円（前年同期比32.9%増）となりましたが、案件構成の違いにより営業損失は10億76百万円（前年同期は営業損失10億35百万円）となりました。また、受注高は178億35百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

(注) 1. EPC (Engineering, Procurement and Construction) : 設計・調達・建設

2. O&M (Operation and Maintenance) : 運転・維持管理

3. PPP (Public-Private Partnership) : 公共サービスの提供に民間が参画する手法

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ99億74百万円減少し、1,226億45百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が増加しましたが、受取手形及び売掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ104億3百万円減少し、1,051億34百万円となりました。

固定資産は、FUCHS Enprotec GmbH の買収に伴い、のれんが増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ4億29百万円増加し、175億11百万円となりました。

流動負債は、前受金が増加しましたが、買掛金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ78億20百万円減少し、485億6百万円となりました。

固定負債は、PFI等プロジェクトファイナンス・ローンが減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ4億37百万円減少し、168億25百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ17億17百万円減少し、573億14百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績につきましては、2019年4月25日発表の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,589	54,539
受取手形及び売掛金	76,282	37,035
仕掛品	4,670	7,448
貯蔵品	3,932	4,189
その他	2,062	1,922
流動資産合計	115,538	105,134
固定資産		
有形固定資産	3,188	3,272
無形固定資産		
のれん	1,670	2,039
顧客関連資産	2,539	2,494
その他	1,861	1,795
無形固定資産合計	6,072	6,328
投資その他の資産	7,822	7,909
固定資産合計	17,082	17,511
資産合計	132,620	122,645

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,278	7,012
電子記録債務	8,380	13,065
短期借入金	337	273
1年内返済予定のPFI等プロジェクトファイナ ンス・ローン	844	850
未払法人税等	2,419	85
前受金	16,075	18,755
完成工事補償引当金	1,361	1,357
受注工事損失引当金	517	584
その他	8,111	6,520
流動負債合計	56,326	48,506
固定負債		
長期借入金	1,847	1,796
PFI等プロジェクトファイナンス・ローン	10,705	10,328
退職給付に係る負債	4,603	4,588
その他	107	111
固定負債合計	17,262	16,825
負債合計	73,589	65,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,946	11,946
資本剰余金	15,080	15,080
利益剰余金	33,830	31,863
自己株式	△0	△0
株主資本合計	60,856	58,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49	55
為替換算調整勘定	△371	△222
退職給付に係る調整累計額	△1,645	△1,550
その他の包括利益累計額合計	△1,967	△1,717
非支配株主持分	142	140
純資産合計	59,031	57,314
負債純資産合計	132,620	122,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	11,582	14,848
売上原価	10,186	12,412
売上総利益	1,395	2,435
販売費及び一般管理費	3,711	3,999
営業損失(△)	△2,316	△1,563
営業外収益		
受取利息	46	43
受取配当金	51	43
為替差益	176	—
その他	0	1
営業外収益合計	275	88
営業外費用		
支払利息	54	52
固定資産処分損	1	4
為替差損	—	127
その他	0	—
営業外費用合計	55	184
経常損失(△)	△2,096	△1,659
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,096	△1,659
法人税等	△619	△497
四半期純損失(△)	△1,477	△1,162
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,486	△1,162

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,477	△1,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	6
為替換算調整勘定	△884	148
退職給付に係る調整額	113	95
その他の包括利益合計	△766	250
四半期包括利益	△2,244	△912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,253	△912
非支配株主に係る四半期包括利益	9	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
(税金費用の計算) 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,668	3,914	11,582	—	11,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,668	3,914	11,582	—	11,582
セグメント損失(△)	△1,280	△1,035	△2,316	—	△2,316

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラントエンジニアリング事業	サービスソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,644	5,203	14,848	—	14,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,644	5,203	14,848	—	14,848
セグメント損失(△)	△487	△1,076	△1,563	—	△1,563

(注) セグメント損失は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失の数値との間に差異はありません。